

The Great Scene of Shiretoko

発行：網走南部森林管理署 ウトロ森林事務所

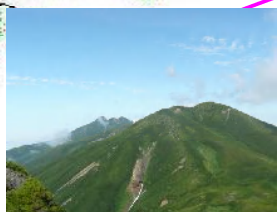
森林官・グリーンサポートスタッフ（GSS）

羅臼岳（岩尾別ルート）

（標準コースタイムで頂上往復9時間くらいかかります）



羅臼平から35分くらいで三ツ峰に登ることができます。



三ツ峰ピークから硫黄山方面の眺望



三ツ峰に登る途中のお花畑

見られる花や景色が違うので、縦走コースの入り口である三ツ峰にも足を運んでみてはいかがでしょうか？

（クマの出没情報があるので、クマを見かけた場合は無理せず引き返してください）

チングルマの衣替え?!

チングルマは白い可憐な花が、ふわふわの綿毛を付けた実になります。近頃、花より綿毛が目立つようになり、秋の訪れを感じます。

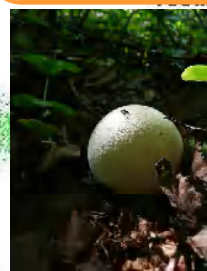


花(夏)



実(秋)

残雪状況
大沢の一部に雪渓が残っています。アイゼンなどの携行をお勧めします。



針広混交林帯
今年は雨が多いためか、きのこがたくさん見られます。これはまあいい不思議な形のきのこです。

～3つのお願い～

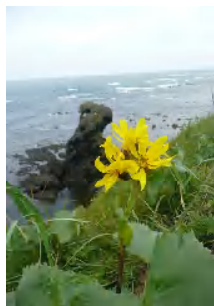
- ☆登山道にはトイレがありません。携帯トイレを持参してください。
- ☆植物を守るため、登山道以外の場所を歩かないでください。
- ☆登山道や植生の破壊を防ぐため、登山用ストックのゴムキャップをつけて下さい。

知床岬の巡視を行いました

GSSでは定期的に知床岬の巡視を行い、植生や利用の状況を確認しています。



知床岬先端部の草原を巡視している風景



草原ではトウゲブキの花が目立ちました

今回は通常の巡視に加え、防鹿柵（鹿の食害を防ぐために森の一区画をフェンスで囲ったもの）の破損を修理する作業を行いました。



強風で木がフェンスに倒れかかり、網がたわんでいたのを、



網の上から取り除き、



倒れた木をのこぎりで切り



たわんだ網を元通りに伸ばし、番線でつなぎ目を補強しました。

これでシカが柵内に入る恐れもなくなりました。

登山道の整備をしています

～水切りのメンテナンス～

登山道に雨水が溜まると、ぬかるんで歩きにくくなるだけでなく、雨水の流れにより道の表面が削られてしまいます（洗堀といいます）。

ぬかるみを避けて登山道の脇を歩くことによる植生の損傷や、登山道の洗堀が一度起こってしまうと、元の状態に回復させるのがとても難しくなります。

このため、水が溜まりやすいところには、水をできるだけ早く登山道の外に流し出すため、登山道の外に向かって溝を掘り、水の排出を助けます。これを水切りといいます。



この水切りは時間が経つと土砂や落ち葉が溜まり働きが悪くなるため、定期的の中のものを取り除くメンテナンスが必要となります。

今回はその水切りメンテナンスを行いました。

クワを使って泥や石、落ち葉を丁寧に取り除きます。



メンテナンス前



メンテナンス後

写真の通り、メンテナンス作業により埋まっていた水切りが復活しました。